

週間市場レポート (2020年6月29日~7月3日)

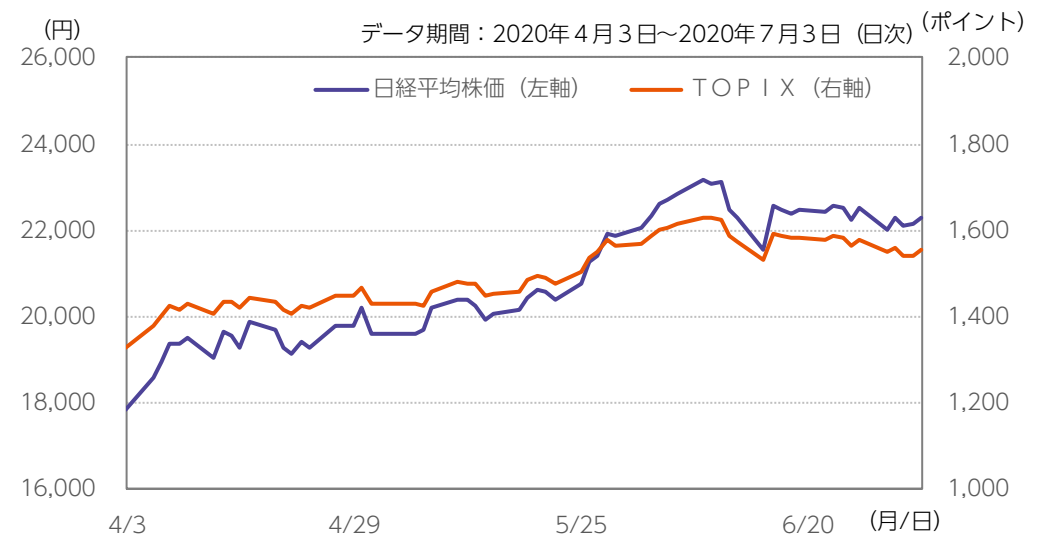
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末*2 2020/6/26	先週末*3 2020/7/3	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)	🇯🇵	22,512.08	22,306.48	▲ 0.91 ↓
TOPIX (東証株価指数)	🇯🇵	1,577.37	1,552.33	▲ 1.59 ↓
ダウ工業株30種平均 (ドル)	🇺🇸	25,015.55	25,827.36	3.25 ↑
S&P500種指数	🇺🇸	3,009.05	3,130.01	4.02 ↑
ユーロ・ストックス50指数	🇪🇺	3,204.17	3,294.38	2.82 ↑
S&P/ASX300指数	🇦🇺	5,867.06	6,018.01	2.57 ↑
上海総合指数	🇨🇳	2,979.55	3,152.81	5.82 ↑
MSCI AC アジア (除く日本)**		808.65	835.23	3.29 ↑
東証REIT指数	🇯🇵	1,710.36	1,691.94	▲ 1.08 ↓
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	🇺🇸	644.26	676.11	4.94 ↑
ASX300 REIT 指数	🇦🇺	1,246.30	1,258.60	0.99 ↑
グローバルREIT (除く日本)**		153.35	159.26	3.86 ↑
日本10年国債 (%)	🇯🇵	0.01	0.03	0.02 ↑
米国10年国債 (%)	🇺🇸	0.64	0.67	0.03 ↑
ドイツ10年国債 (%)	🇩🇪	▲ 0.48	▲ 0.43	0.05 ↑
英国10年国債 (%)	🇬🇧	0.17	0.19	0.02 ↑
ドル/円	🇺🇸	107.22	107.51	0.27 ↑
ユーロ/円	🇪🇺	120.28	120.95	0.56 ↑
英ポンド/円	🇬🇧	132.26	134.20	1.47 ↑
豪ドル/円	🇦🇺	73.61	74.62	1.37 ↑
フィラデルフィア半導体指数		1,921.92	1,993.61	3.73 ↑
WTI原油先物 (ドル)		38.49	40.65	5.61 ↑
CRB 指数		134.41	140.60	4.60 ↑
アレリアンMLP指数		719.59	719.21	▲ 0.05 ↓

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。週初は、米国で新型コロナウイルスの感染第2波への懸念から株価下落となった流れを受け、景気敏感株を中心に下落となりました。その後は、米中の経済指標の改善などを背景に、上昇に転じたものの、週間では前週末比で小幅に下落となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

※現地通貨ベース *1 ▲はマイナスを表します。*2 上海総合指数は、端午節で休暇のため2020年6月24日のデータ

*3 米国関連指数は、独立記念日のため2020年7月2日のデータ

≪ 債券 ≫

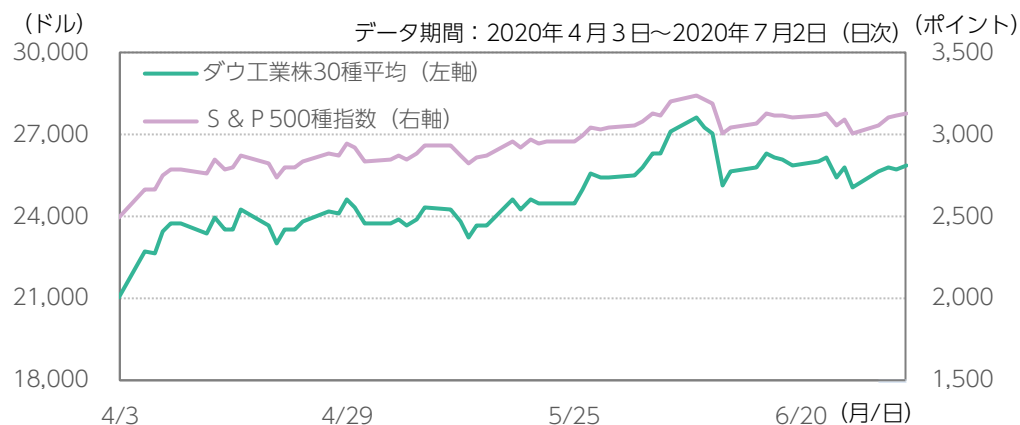
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。
日銀が公表した7月の国債買い入れオペの運営方針が需給の緩みを意識させるものであったことなどから、国内債券は売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



3) 米国の株式市場

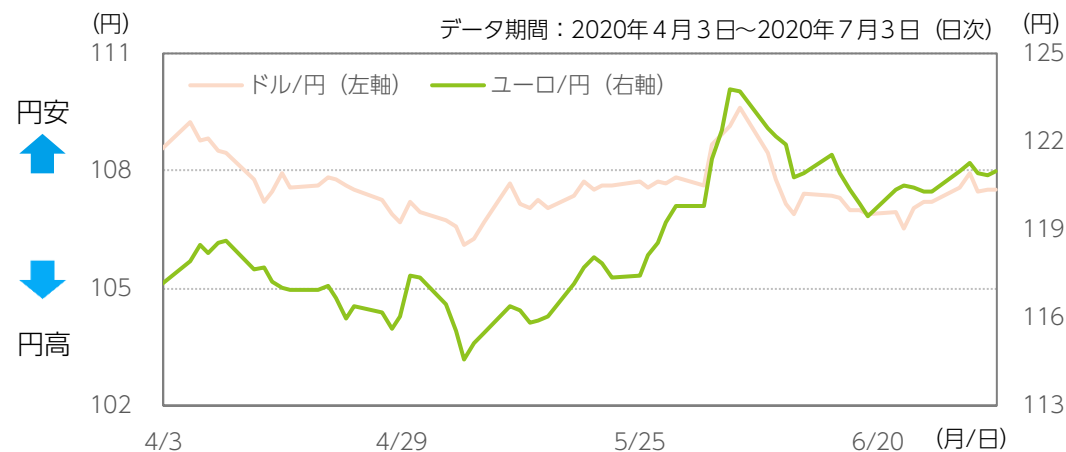
≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は前週末比で上昇となりました。
新型コロナウイルス感染第2波への警戒感がくすぶるものの、公表された米国経済指標が市場予想を上回る結果であったことなどを背景に、週を通じて上昇基調となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。
米中の経済指標の改善などを背景に、投資家がリスクを取る動きが強まり、相対的に安全資産とされる円は売りが優勢となりました。



5) 今週の見通しについて

5月中旬以降、主要国がロックダウン（都市封鎖）を緩和するなど、経済活動を再開させたことなどから、足元公表された経済指標には改善がみられます。先週公表された米国経済指標も市場予想を上回る結果であったことなどから、米国株式市場は前週末比で上昇となりました。

東京都の1日あたり新規感染者数が5日連続で100人を超えるなど、東京を中心として感染者数が増加しており、再度の行動制限等の強化への警戒感がくすぶっています。米国でも35州で再び感染が広がっており、アリゾナ州など22州で飲食店での店内飲食の中止や営業再開が制限され、米国経済回復の停滞懸念が高まっています。

今週は、6月のISM（米供給管理協会）非製造業景況感指数などの経済指標が公表されます。良好な結果となることが株価に織り込まれているとみられ、仮に良好な結果となった場合でも、株式市場の反応は限定的であると見込みます。今週も、感染第2波と行動制限の再強化への警戒感の高まりなどから上値の重い展開を予想します。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>